

梁川ホームだより

●平成22年12月23日発行

No.
31

発行責任者

社会福祉法人信達福祉会 総合老人福祉施設梁川ホーム施設長 岡崎 康之
福島県伊達市梁川町字東土橋65-1 TEL 024 (577) 6111(代) FAX 024 (577) 6115
■ホームページアドレス <http://www.shintatsu.jp> ■メールアドレス yanagawa@shintatsu.jp

事業内容

- 特別養護老人ホーム 定員 80名
- 短期入所生活介護 (ショートステイ) 定員 20名
- デイサービスセンター I型
- デイサービスセンター II型
- 地域包括支援センター
- ケアハウス 定員 30名
- 指定居宅介護支援事業所

総合老人福祉施設
〔梁川ホーム運営理念〕
安全・安心・ゆとりの

梁川ホーム

1. 梁川ホームは、利用者の主体性と自主性を尊重し、人間としての尊厳に根ざした介護を進めます。
1. 梁川ホームは、家族・地域社会との連携を密にし、あたたかい家庭的環境を築きます。

9/19
敬老会を
開催

祝 敬老
いつまでもお健やかに



特集30 「人間尊重の 施設づくりに向けて」

梁川ホーム運営理念の具現化への第一歩

梁川ホーム認知症介護者教室を開催

去る11月27日、梁川ホームショートステイ、デイサービスセンター、居宅介護支援事業所利用者のご家族様においていただき、認知症介護者教室を開催しました。

この教室は、当施設が持っている認知症についての知識と介護のノウハウをご家族の皆様にお伝えしながら、日頃ご自宅で介護されているご様子を伺い、介護に対する不安解消の役に立てていただくという目的で、22年度当初より事業計画に組み込み、具体的な内容を認知症介護委員会が担当して進めてきたものです。

教室は、岡崎園長の挨拶の後、
①「認知症の基礎理解」

②「認知症高齢者の気持ちになつて」

③意見交換会
という構成で組み立てました。

「認知症の基礎理解」では、一般的に良く知られるようになったアルツハイマー型認知症・脳血管性認知症と、近年アルツハイマー病に次いで多いことが確認されてきているレビー小体型認知症の、それぞれの疾患の特徴と進行の仕方について、講義形式で説明をいたしました。認知症介護に関する専門用語が多く、もっと一般的な家庭で普段使っている言葉で説明を差し上げた方がわかりやすかったのではないなかつたかと反省しました。

「高齢者の気持ちになつて」では、認知症のお年寄りとは介護者のやりとりを寸劇で観ていただきました。

多くの認知症の方は記憶障害を抱えています。そのため今ご自分のいる場所がどこなのか、目の前の相手が誰なのか、かがわからなくなってしまうことがよくあります。

もしかしたら認知症のお年寄りは、毎日知らない場所ではない人たちに囲まれて生活しているという、とても不安で孤独な状態にあるのかもしれない。

寸劇では、普段施設の職員が当たり前のように親しげに挨拶をしたり、危ないからと声をかけたり、少し離れて見守りをする場面をお年寄りの視点から演

じることにより、認知症のお年寄りの抱えている不安や孤独感を感じていただくことが出来たように思います。

意見交換会では、ご自宅で介護されているご家族の皆様のお気持ちを話していただきました。

介護をされているご家族は、
(1)戸惑い・否定
(2)混乱・怒り・拒絶
(3)あきらめ・割切り
(4)受容

への4つの段階をたどると言われていますが、出席された皆様の中には、すでに大変な時期を乗り越えられて受容の段階になっている方もいらっしゃる。介護家族の先輩として他のご家族様の苦労を聞いていただいたり、ご自分の体験談をお話していただくなどとても頼もしい助言者になっていただきました。

また、デイサービスやショートステイを利用してとても助かっている、利用日が待ち遠しいというありがたいご意見も聞かせていただき、職員にとっては、自分たちの仕事の皆様のお役に立っているというのを、ご家族様の生の声で確かめることが出来る嬉しい機会にもなりました。

梁川ホームの運営理念は利用者主体であることともう一つ、地域・家族との連携を築くことにありますが、認知症介護者教室を通して深めることの出来たご家族様との連携を大切にしながら、これから利用者の皆様とご家族様にも安心していただける介護サービスを提供する努力を続けてまいります。

介護家族のたどる4つの心理的ステップ

第1ステップ

とまどい 否定

- 老人の異常な言動に戸惑い、否定しようとする

- 悩みを他の肉親にすら打ち明けられないで一人で悩む時期である

第2ステップ

混乱 怒り 拒絶

- ぼけの理解が不十分なため、どう対処してよいかわからず混乱し、ささいなことに腹をたてたりしったりする

- 精神的・身体的に疲労困憊して老人を拒絶しようとする
- 一番つらい時期。医療・福祉サービスなどを積極的に利用することで乗り切る

第3ステップ

あきらめ 割り切り

- 怒ったりイライラするのは自分に損になると思い始め、割りきるようになる

- あきらめの境地に至る
- 同じぼけ症状でも、ぼけ問題は軽くなる

第4ステップ

受容

- ぼけに対する理解が深まって、ぼけ老人の心理を自分自身に投影できるようになる

- あるがままのお年寄りを家族の一員として受け入れることができるようになる

家族を楽に、そして力の発揮 ～上手な介護のための12カ条～

第1条 知は力なり、よく知ろう

第7条 仲間を見つけて、心軽く

第2条 割り切り上手は、介護上手

第8条 ほっと一息、気は軽く

第3条 演技を楽しもう

第9条 借りる手は、多いほど楽

第4条 過去にこだわらないで現在を認めよう

第10条 ペースは合わせるもの

第5条 気負いは、負け

第11条 相手の立場でものを考えよう

第6条 囲うより開けるが勝ち

第12条 自分の健康管理にも気を付けて

梁川ホーム

バスハイク

新蕎麦が楽しみで毎年、四季の里に行っています。

今年もガラス細工を見たり、

外の景色を眺めながら、お蕎麦も食べ、バスハイクを満喫してきました。



芋煮会

10月13日は秋空の下、芋煮会を楽しみました。利用者さんに切っていただいた具材をお釜で煮込み、おにぎりと一緒にいただきました。

自分たちで作った豚汁は最高においしく完食された利用者さん多いらっしゃいました。

食欲の秋、満喫



利用者の方に手伝っていただき、お釜で炊いています

豚汁を目の前にして、うふ!

運動会

毎年恒例の運動会。

今年は新しい競技の梁川エイトボールに仮装大会、お楽しみレースが行われ、大いに盛り

上がりました。

ふだんあまり身体を使ったことのない利用者さんも、この日ばかりは夢中になって動かししました。



右は仮装大会で左はエイトボール、欲張りな運動会でした。でも、二つ楽しんでいただきました。



今年もいろんなことにチャレンジしました

足湯

9月24日には旧堀切邸に周りながら、足湯に行ってきました。

その日は9月下旬でしたが、暖かい陽だまりの中、心も身体もポッカポカになりました。



希望の森公園散策

11月26日、紅葉を眺めながら、希望の森公園に行ってきました。

久々の外出でしたが、落ち葉のじゅうたんが敷き詰められ、秋の空気をたくさん感じることができました。



釣りに行ってきました

10月8日保原の高子沼に森林浴を楽しみながら、釣りに行ってきました。昨年のようにには釣れませんが、青空の下、ランチャタイムにお弁当を食べ楽しいひとときを過ごしてきました。



デイサービスセンター

笑顔あふれる
デイサービス
を目指して

デイサービスでは機能訓練を始めてからこれまで、ご指導を受けている吉井先生をお迎えしているいろいろな体操に取り組んできました。

ボールを使った体操など、体を動かす体操が中心ですが、今年はさらに、ラフターヨガ（笑いヨガ）という体操を取り入れ、「体の中から元気になろう!!」と楽しく体操しています。

ラフターヨガとは：ただ笑うだけの体操です。誰でもすぐにでき、特別な道具も必要ありません。自然な笑いでも、作り笑いでもOK!!最初は「笑って!!」と言われても、はじかしかつたりと、ただ笑

うこともなかなか難しい様でしたが、そこはデイサービスのスタッフの得意分野! スタッフが笑う姿に皆さんもつられて自然と笑いはじめ、今では手拍子のリズムに合わせて声を出して笑っています。また、デイサービスでは体操の時間だけでなく、お風呂の時や食事の時、レクリエーションの時やちょっとした会話の中でも、笑いが生まれるよう、スタッフ一同、心がけています。

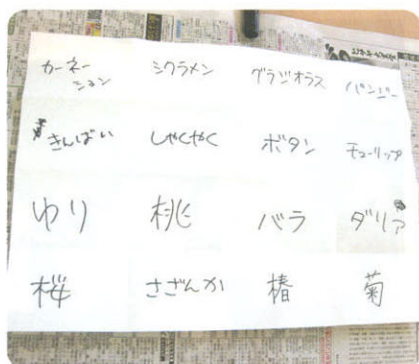


こんなゲームで頭の体操

言葉遊びゲーム

(4~5人くらいのチームに分かれて行うゲーム)
・白い紙を16個に区切り、出題されたテ

マに合う言葉を16個考えます
・他のチームと答えがかぶらないように考え、点数を競います。
出題されるテーマは花の名前とか、「え」のつく言葉とか、「冬」と言えば…」とかです。



ゲームに夢中! 花の名前を書き出してみました。知っているようで、いざ、言おうとするとなかなか出てこない。ホントにこれってよい頭の体操です。



笑って、笑って、みんな元氣! これからもデイサービスに来られたら、いっぱい笑ってくださいね。



デイサービスII型は、芸術の秋です

書道を行っています。が、利用者の方は、心静かに集中して半紙に向かっています。

いつもは賑やかなフロアに、墨の香りがただよい、背筋も伸びた利用者さんの筆の運びに、ただただ感心してしまいます。



伸びやかな筆使いで腕前もなかなかのものです

ケアハウス広瀬

芋煮会



今年も10月13日に芋煮会を行いました。

いつものように芋煮汁とおにぎりを自分たちで作りました。戸外ではテーブルを運んだ

り、鍋奉行をして下さったりと利用者の皆様に手伝っていただきました。芋煮汁がおいしかったです。



芋掘り



10月15日に春に植えたさつま芋掘りをしました。今年の夏の暑さのせいか、収穫量はいつもの半分でした。掘った芋は焼き芋や

お茶と昔話を聞く会

11月18日に茶道の先生の鈴木順子先生他3名の方々をお迎えして、お茶の会と昔話を聞く会を開催しました。

先生方は、会場に野点傘を立てて茶釜でお湯を沸かして下さいました。

大変雰囲気のある中で、利用者お一人おひとり順番にお茶を点



てて、向かい合った方に差し上げ飲んでいただきました。紅葉模様の和菓子をしていただいた後の抹茶が、とてもおいしくてもう一杯と言いたいく所でした。お茶の後は菊池あや子さんの昔話、「かさこ地蔵」のお話を伺いました。大人が聞いてもしみじみとくるお話でした。

中野不動尊へバスハイクに行ってきました



てんぷらとそれでも3回ほど料理をして食べていただきました。

10月28日に中野不動尊にバスハイクに行ってきました。あいにくの雨でしたが、中野不動尊でお参りをしたら、甘酒を飲んで玉こんにゃくを食べてきました。松月堂高木で買い物をしてから帰ってきました。

今年も中学生が職場体験で来園



梁川中学校の2年生が職場体験活動としてケアハウスを訪れ、浴室の清掃をしてくださいました。ありがとうございました。

伊達市梁川総合文化祭見学



11月2日に梁川農村改善センターで開催された文化祭を見学してきました。

作品の出来栄に感心し、目の保養になりました。

伊達市梁川地域包括支援センター

「だまされないで！」

高齢者の消費者被害が

増えています



押し売りや、振り込め詐欺など、高齢者の消費者被害が増えています。手

口が巧妙で、悪質なものも多く、騙されたと気が付くまで時間が掛かり、泣き寝入りしている被害者の方も少なくありません。

そういったトラブルに合わないために、どのような手口があるのか、情報を知っておくと良いと思います。情報があつた被害を未然に防ぐことができます。

訪問販売

巡回している廃品回収業者が、依頼していない

ものまで運び出し、法外な料金を請求する

※悪質なものでは、業者が一方的に訪問して、勝手に積み込み、請求する場合もあります。

キャッシュカード詐欺

警察官を名乗る男が、電話で、「口座が犯罪に使われた」などの理由で、暗証番号を聞き出し、電話のすぐ後、または電話の最後に、別の男が訪問し、「手続きの為」と、キャッシュカードを取りに来る

※警察官や銀行員などが、

暗証番号を聞いたり、キャッシュカードを預かることは絶対にありません。何があつても、他人に暗証番号は教えないようにしましょう。

電話勧誘

「すばらしい作品なので是非、雑誌（新聞）に掲載しませんか」と、自作の俳句や短歌を無料で掲載できるかのように勧め、電話で契約させ、その後高額な請求をする

※承諾なしで掲載された時は、支払わないようにしましょう。他の趣味でもありうることです。しつこい勧誘であつても、はっきり断るようにならう。

点検販売

総務省の名をかたり、「地上デジタルテレビ放送をみられるようにするため」とテレビを点検し、

不必要な部品等売りつける

※総務省の関係者が訪問し、点検や、部品を売るなどすることはありません。

ご紹介したものはごく一部のケースです。被害にあわなかったために、怪しい電話がかかってきたら、必ず相手に名乗らせましょう。また「いいません」と、はっきり断りましょう。

それでも被害にあつてしまったときには、消費生活センターなどへ相談しましょう。クーリングオフ制度も利用できる場合があります。

地域包括支援センターでも、消費生活センターや市と協力して、被害にあつた方の支援を行い、被害を未然に防ぐよう努めていきます。

伊達市

梁川地域包括支援センター

TEL (577) 6111

(梁川ホーム内)

こちらでも介護保険や福祉用具など、介護に関するご相談をお受けしております。お気軽にご相談ください。

梁川ホーム指定居宅介護支援事業所 TEL 024 (577) 6111



梁川ホーム感染症委員会より

今年、ノロウイルス感染症の流行が全国的に発生しているとの報告があります。

発生は10月～2月にかけて集中する傾向があり、高齢者介護施設等で集団感染が発生する恐れが十分に考えられます。

当施設ではこの季節を迎える前に、ノロウイルス感染症のまん延防止をするため、嘔吐物処理の研修を全職員で行い、手洗い・うがいの呼びかけや健康チェックの徹底を職員のみならず来園者にもご協力をお願いしております。

ところで、「ノロウイルス感染とはどこからくるの？」感染には三つの感染経路があります。

第一はノロウイルスに汚染された牡蠣やシジミなどの二枚貝を、生または過熱不十分の状態で摂食することにより感染することがある。

第二は人から人への感染。ノロウイルス感染症に罹患している利用者を担当している介護者等を介在し、他の被介

護者及び関係者に感染拡大してしまふ。

第三はノロウイルス感染者の嘔吐物等が、乾燥し粒子が空気中に舞い上がり感染が伝播することがある。

ノロウイルスの潜伏期間は比較的短く12～48時間程度で発症する。主な症状は吐気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱など伴うことがあります。

利用者、介護者とも一番の予防策は、手洗い、うがいです。のでしっかりとしていきたいと思っています。



嘔吐物処理の場合
次亜塩素酸ナトリウム溶液やハイターに浸した布などで覆う



各事業所に配備したノロウイルス対策の常備品
マスク、手袋、エプロン、布、ゴミ袋、ハイター、バケツなどが入っています

ボランティアの来園状況

(平成22年8月～平成22年11月)

- ▼大友流舞踊研究若竹会様 (保原町)：舞踊▼八巻真実子様、穴戸雅弥様、寺島大修様：利用者対話▼鈴木順子様、鈴木孝子様、谷津陽子様、菊池あや子様 (梁川町)：ケアハウスお茶会▼菊池あや子様 (梁川町)：ケアハウスで昔話
- 敬老会
 - ▼ボランティアひろせ様 (梁川町)：利用者介助
- デイサービス敬老会
 - ▼ボランティアアコスモス様 (梁川町)：歌謡、舞踊
- 彼岸供養
 - ▼臥龍山興国寺大僧正様、副住職様 (梁川町)：物故者供養
- 運動会
 - ▼ボランティアアコスモス様 (梁川町)：利用者介助
- 定期
 - ▼JAふれあいグループつくし会様 (梁川町)：ボランティア喫茶▼梁理ホーム会様 (梁川町)：理髪▼梁川陶芸サポート会様 (梁川町)：特

- 養陶芸クラブ指導▼丹野隆雄様 (梁川町)：ケアハウス陶芸教室指導▼佐藤與四郎様 (梁川町)：将棋クラブ▼伊達方部退職公務員連盟女性部様 (梁川町)：特養利用者の話し相手・壁面装飾▼三浦理容店様 (梁川町)：デイサービス利用者の理髪▼梁川俳句会様 (梁川町)：毎月ケアハウスに俳句を掲示▼椎名正枝様 (梁川町)：ケアハウスカラオケ指導▼菅野桃李様、敦賀サト子様 (保原町)：ケアハウス民謡教室指導▼曳地信子様 (梁川町)：デイサービスで利用者の話し相手▼耳話コミュニケーションズ様 (梁川町)：特養利用者の話し相手

ご遺志・ご芳志・ご寄付・ご寄贈の状況

(平成22年8月～平成22年11月)

- 【ご遺志】
 - 渡邊 利幸様 (故 渡邊 幸子様)
 - 岡崎忠昭様 (故 岡崎 忠 様)
 - 藤原 京子様 (故 阿部 キミ様)
 - 工藤 義章様
- 【ご芳志・ご寄付・ご寄贈】
 - JA伊達みらい様 (伊達市・伊達郡)：桃完熟品●秋葉哲郎様 (梁川町)：お祝い●JA伊達みらい梁川総合支店様 (梁川町)：JA祭チャリティ募金●菊池市郎様 (梁川町)：バスタオル、タオル
 - 大橋時男様 (梁川町)：西瓜●穴戸秀男様 (梁川町)：じゃがいも●堀江一郎様 (梁川町)：DVDソフト、ビデオソフト●後藤剛志様 (梁川町)：かぼちゃ●幕田好一様 (宮城県丸森町)：ゆず●石井莊二様 (保原町)：シクラメン鉢植え
 - (故 工藤 富子様)
 - 遠藤富二子様 (故 小野 キイ様)
 - 亀岡 憲治様 (故 亀岡 憲男様)
 - 松浦 和子様 (故 松浦 ミキ様)
 - 菅野 正秋様 (故 菅野 テツ様)
 - JA伊達みらい様 (伊達市・伊達郡)：桃完熟品●秋葉哲郎様 (梁川町)：お祝い●JA伊達みらい梁川総合支店様 (梁川町)：JA祭チャリティ募金●菊池市郎様 (梁川町)：バスタオル、タオル

